



山梨県立大学
Yamanashi Prefectural University

COC+R 令和5年度 事業報告書

PENTAS YAMANASHI

未来を見据え学問のさらなる探求と 研究・教育力の向上による 新たな価値の創造を

山梨県立大学は「地域を愛し、地域を育て、地域をつなぐ」をスローガンに、未来を見据え、学問のさらなる探求と研究・教育力の向上による新たな価値の創造を目指しています。

令和2年度に、本学が提案した教育プログラムが文部科学省の「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R)」に採択されて以降、「観光高度化人材育成プログラム」「地域づくり加速化人材育成プログラム」「ビジネス構想力・経営マインド醸成プログラム」「多文化共生対応人材育成プログラム」「アントレプレナー養成プログラム」と5つの実践的教育プログラムを構築しました。これらは、外部機関と協働して教育プログラムの開発から修了証の発行までを一貫して行うことにより、学生の地元定着率の向上を図るものとなっています。また、大学生と社会人、一部の科目は高校生にも開放しており、このような共学に基づく学びは今後の教育モデルとなっていくものであり、本学のみならず、山梨大学、山梨英和大学など他大学の学生や地域の社会人・高校生など幅広い方々が学ぶことにより、いずれは、修了生が地域を活性化し地域の発展に大いに貢献していくものと考えています。

令和6年度からは、PENTASの全科目が卒業単位として認定される「教養教育科目」の中核に位置づけられるため、更に多くの学生が履修するとともに、より一層学びが深まることを期待しています。また、大学等連携推進法人として文部科学省から認定された「大学アライアンスやまなし」は本学と山梨大学との連携により地域を支える人材育成に寄与することを目的としており、連携開設科目としての参加大学への科目開放等を進めることにより、本事業の教育プログラムを大きく発展させていくものでしょう。

大学での学びは、多様な分野に興味を持ち、課題を見つけ、問いを立て、調べ、

考えて、仲間や教員と議論を交わしながら答えを探究していくことにあります。その過程を繰り返す中にこそ、未来社会へつながる新たな価値が生み出されていくものだと考えます。

本書は、これらの取り組みの詳細をご覧頂くために「COC+R令和5年度事業報告書」として取りまとめたものでございますので、ご一読頂ければ幸いと存じます。

今後とも本事業へのご支援、ご協力をお願いいたします。



事業責任大学 山梨県立大学

学長 早川 正幸

目次

00

はじめに P 3

01

事業概要 P 7

02

令和 5 年度授業実施状況 P17

03

令和 5 年度活動実績 P29

04

令和 5 年度事業運営体制 P35

05

補助事業に関する経費 P37

参加校

- ・山梨県立大学
- ・山梨大学
- ・山梨英和大学

事業協働機関

- ・山梨県
- ・公益財団法人山梨総合研究所
- ・公益財団法人やまなし産業支援機構
- ・公益社団法人やまなし観光推進機構
- ・株式会社タンザワ
- ・萌木の村株式会社
- ・昭和産業株式会社
- ・公益財団法人山梨県国際交流協会
- ・一般社団法人Mt.Fujiイノベーションエンジン

01

事業概要

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

Centers of Community –
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs



VUCA時代の成長戦略を支える 実践的教育プログラム

「PENTAS YAMANASHI」は、山梨県立大学を中心に山梨大学・山梨英和大学・地域の事業協働機関が協力して提供する、学生と社会人の垣根を超えた実践的教育プログラムです。

PENTASは、夏に星形の花を無数に咲かせる常緑性の宿根草で、花言葉は「希望が叶う」「願いごと」「博愛」です。英語では星形の花が半球状に咲く様子から「Star cluster（星団）」とも呼ばれています。本事業を通して、受講生の皆さんが山梨の地からそれぞれの希望を叶えていくことを願って、この名称がつけられました。

VUCA時代と呼ばれる、既存の価値観やビジネスモデルが通用しない予測不可能な時代をクリエイティブに生き抜くため、多彩な講師陣と多様な受講者による学びあいをおして、しなやかな「実践知」を育みます。

ARTとSCIENCEの 精神を兼ね備えた 創造的課題解決人材の育成

ARTとは？

自然を模範とし、美の精神で未来を創造する力

SCIENCEとは？

物事の本質を突き詰め、一般化する力

COC+Rとは？

文部科学省では、令和2年度から、地域の知の拠点としての大学が、他の大学等や地方公共団体、地域の企業等と協働し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口（就職先）と一体となった教育プログラムを実施することで、若者の地元定着と地域活性化を推進する「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（COC+R）」を実施しています。地方創生に向けては、当該地域にある高等教育機関が核となって、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠です。人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められています。



令和5年度開講プログラム紹介

・5つの実践的教育プログラム



・プログラム修了要件

※ 各プログラムのVUCA科目、学部等開講科目（参加大学 学生のみ）、技能科目、実践科目より所定の単位数を取得した者に修了証が授与されます。修了要件は学生と社会人で異なります。

※ 「次代を担うアントレプレナー養成プログラム」は学部等開講科目ではなく、学生・社会人ともに9単位以上を取得した者に修了証が授与されます。

参加大学学生

18単位以上

- ・VUCA科目 3単位
- ・学部等開講科目 8単位
- ・技能科目 3単位
- ・実践科目 4単位

社会人等

10単位以上

- ・VUCA科目 3単位
- ・技能科目 3単位
- ・実践科目 4単位

プログラム修了証



※プログラム修了証は、事業協働機関とともに発行いたします。

各プログラム概要

観光高度化人材育成プログラム

地域資源の活用方法を学び観光の高度化を図ることができる人材を育成するとともに、新たな地域資源を対象に教育プログラム化し、実務家や専門家から本県の自然・歴史文化財の活用方法を学んでいきます。

- 地域資源を活用した先進事例の紹介
- ワイン県ならではのワイン関連科目
- 自然環境のマネタイズ手法を学び、自然文化からの価値創造を図る
- 観光業で活かせる語学力とホスピタリティマインドの醸成

地域づくり加速化人材育成プログラム

地域づくりの中心を担い、社会変革力の醸成を担う事ができる人材の育成を目的に、更なる地域住民との交流・対話の場を設け、実践的な授業を展開していきます。

- 高い志をもった公務員の育成
- 地域の課題を発掘する手法の習得
- ハイレベルなコンピテンシーを身に付けた人材の育成
- 実践的な企画立案能力の醸成

ビジネス構想力・経営マインド醸成プログラム

県の基幹産業である製造業等において求められる人材を育成するため、実務家教員を最大限活用し、新規でビジネスを構想する力を養うとともに、経営マインドの醸成を図ります。

- 企業がチャレンジしている経営革新の紹介
- 事業計画の作成やイノベーション創造までの実践的手法
- トレンド予測やブランディング等、ビジネス構想力の醸成

多文化共生対応人材育成プログラム

医療・福祉・教育の現場の国際化・多文化化の課題を理解し、解決するための方策を見出すことのできる人材を育成します。

- 多文化共生の現場を訪問
- 芸術をとおした多様な人々との協働の体験
- 多様な背景をもつ人々とのコミュニケーション力の醸成
- 多文化化する保健・医療・福祉現場で活躍できる人材育成

次代を担うアントレプレナー養成プログラム

自らの課題をビジネスの手法で解決する能力を養い、「起業家精神」を有する人材を養成するとともに、学生と社会人が相互に学び合い、新たな視点で事業を構想することのできる場を提供していきます。

- 起業家（実務家教員）による実践的な授業
- 世界で通用するビジネススキルの獲得（山形大学アントレプレナーシップ育成プログラムの活用）
- ビジネスプランコンテストへの出場とマルチステークホルダーによるメンタリング

1. 教育課程表（科目一覧）

観光高度化人材育成プログラム

科目分類	科目名	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	授業形式	連携開設科目	コンソ単位互換
VUCA科目	VUCA時代のキャリアレジリエンス	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	地域のチャレンジ 1	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域のチャレンジ 2	選択		1～4	1	講義	○	○
	グローバルマインドとスキル	選択		1～4	2	講義	○	○
	地域しごと概論（経営マインド）	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域の豊かさ	選択		1～4	2	講義	○	○
	問題発見の技法（旧：提案書作成のためのスキル）	選択		1～4	1	演習	○	○
学部等開講科目	山梨学Ⅱ	選択	8単位 (学生のみ)	(全学共通)	2	講義	○	○
	山梨の観光	選択		(国際政策)	2	講義		○
	文化とコミュニケーション	選択		(国際政策/全学共通)	2	講義	○	○
	日本の歴史	選択		(国際政策/全学共通)	2	講義	○	
	観光実務	選択		(国際政策)	2	講義		○
	山梨観光演習	選択		(国際政策)	1	演習		○
	海外インターンシップ	選択		(国際政策)	1	実習		○
	観光ビジネス論	選択		(国際政策)	2	講義		○
技能科目	地域資源の保全と活用	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	料理とワインのマリアージュ	選択		1～4	1	講義	○	○
	まちづくりの思想と技術（旧：地域課題解決）	選択		1～4	2	講義	○	○
実践科目	ローカルデザイン実践演習（旧：地域課題解決演習）	選択	4単位	1～4	1	演習	○	○
	事業づくりの技法（旧：地域課題創造的解決演習）	選択		2～4	1	演習	○	○
	通訳入門実践	選択		1～4	1	演習	○	○
	実用中国語	選択		1～4	1	演習	○	○
	ネイチャーガイド演習 1	選択		1～4	1	演習	○	○
	ネイチャーガイド演習 2	選択		1～4	1	演習	○	○
	日本ワイン歴史マイスター養成講座	選択		1～4	1	講義	○	○
	おもてなしマイスター養成講座	選択		1～4	1	講義	○	○
	観光実践マネジメント講座	選択		1～4	1	講義	○	○
	やまなしワイン入門講座	選択		1～4	1	演習	○	○



①通訳入門実践 ②観光実践マネジメント講座 ③料理とワインのマリアージュ

地域づくり加速化人材育成プログラム

科目分類	科目名	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	授業形式	連携開設科目	コンソ 単位互換
VUCA 科目	VUCA時代のキャリアレジリエンス	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	地域のチャレンジ1	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域のチャレンジ2	選択		1～4	1	講義	○	○
	グローバルマインドとスキル	選択		1～4	2	講義	○	○
	地域しごと概論（経営マインド）	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域の豊かさ	選択		1～4	2	講義	○	○
	問題発見の技法（旧：提案書作成のためのスキル）	選択		1～4	1	演習	○	○
学部等 開講科目	地域プロジェクト論	選択	8単位 （学生の み）	（国際政策）	2	講義		○
	環境社会学	選択		（国際-総合政策）	2	講義		○
	公共人材論	選択		（国際-総合政策）	2	講義		
	山梨の政策課題	選択		（国際-総合政策）	2	講義		○
	政策法務論	選択		（国際-総合政策）	2	講義		
	地域企業実践論	選択		（国際-総合政策）	2	講義		○
技能 科目	ワークショップデザイン（旧：コミュニケーション手法）	選択	3単位	1～4	2	講義	○	○
	まちづくりの思想と技術（旧：地域課題解決）	選択		1～4	2	講義	○	○
実践 科目	事業づくりの技法（旧：地域課題創造的解決演習）	選択	4単位	2～4	1	演習	○	○
	政策づくりの技法（旧：地域づくり人材育成講座）	選択		2～4	1	演習	○	○
	ローカルデザイン実践演習（旧：地域課題解決演習）	選択		1～4	1	演習	○	○
	事業づくり実践演習（旧：地域づくり人材育成演習1）	選択		2～4	1	演習	○	○
	政策づくり実践演習（旧：地域づくり人材育成演習2）	選択		2～4	1	演習	○	○



①事業づくり実践演習 ②政策づくりの技法 ③ 政策づくり実践演習 ④ まちづくりの思想と技術

ビジネス構想力・経営マインド醸成プログラム

科目分類	科目名	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	授業形式	連携開設科目	コンソ 単位互換
VUCA 科目	VUCA時代のキャリアレジリエンス	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	地域のチャレンジ 1	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域のチャレンジ 2	選択		1～4	1	講義	○	○
	グローバルマインドとスキル	選択		1～4	2	講義	○	○
	地域しごと概論（経営マインド）	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域の豊かさ	選択		1～4	2	講義	○	○
	問題発見の技法（旧：提案書作成のためのスキル）	選択		1～4	1	演習	○	○
学部等 開講科目	簿記論	選択	8単位 (学生の み)	(国際政策/全学 共通)	2	講義	○	○
	簿記演習	選択		(国際政策/全学 共通)	1	演習	○	○
	経営学	選択		(国際政策)	2	講義		○
	経営組織論	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	会計学	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	上級簿記	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	金融論	選択		(国際政策)	2	講義		○
	地域企業実践論	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	経営史／経営戦略論	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	経営分析論	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	マーケティング論	選択		(国際-総合政策)	2	講義		○
	国際経営論	選択		(国際政策)	2	講義		○
技能 科目	企業がチャレンジする経営革新	必修	3単位	1～4	1	講義	○	○
	付加価値を生む地域資源の保全とブランド化	選択		1～4	1	講義	○	○
	金融リテラシー向上講座～お金の過去・現在・未来～	選択		1～4	1	講義	○	○
	国際貿易実務	選択		1～4	1	講義	○	○
実践 科目	事業計画づくりワークショップ	選択	4単位	2～4	1	演習	○	○
	トレンド予測の手法	選択		1～4	1	演習	○	○
	イノベーション創造の基礎と実践	選択		2～4	1	演習	○	○
	ブランディング基礎と実践	選択		2～4	1	演習	○	○
	企業におけるレクチャーと現場研修	選択		1～4	1	演習	○	○



①イノベーション創造の基礎と実践 ②企業におけるレクチャーと現場研修 ③ 付加価値を生む地域資源の保全とブランド化

多文化共生対応人材育成プログラム

科目分類：◎	科目名	選択/必修	最低必修 単位	配当年次	単位数	授業 形式	連携開設 科目	コンソ 単位互換
VUCA 科目	VUCA時代のキャリアレジリエンス	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	地域のチャレンジ 1	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域のチャレンジ 2	選択		1～4	1	講義	○	○
	グローバルマインドとスキル	選択		1～4	2	講義	○	○
	地域しごと概論（経営マインド）	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域の豊かさ	選択		1～4	2	講義	○	○
	問題発見の技法（旧：提案書作成のためのスキル）	選択		1～4	1	演習	○	○
学部等 開講科目	共生社会論	選択	8単位 (学生のみ)	(国際政策/全学共通)	2	講義	○	○
	文化とコミュニケーション	選択		(国際政策/全学共通)	2	講義	○	○
	カウンセリング基礎	選択		(全学共通)	2	講義		
	未修外国語(中国語1ab、スペイン語1ab、韓国語1ab、フランス語1ab)	選択		(全学共通)	2	演習		
	留学英語	選択		(国際政策/全学共通)	1	演習		
	看護英語	選択		(看護)	2	講義		
	医療英語 I	選択		(看護)	2	講義		
	医療英語 II	選択		(看護)	1	講義		
	国際看護学	選択		(看護)	2	講義		
	国際保健医療演習	選択		(看護)	2	演習		
	生・倫理・自立	選択		(人間福祉)	2	講義		
	子どもの人権	選択		(人間福祉)	2	講義		
	私たちの人生と障がい	選択		(人間福祉)	2	講義		○
	福祉と人権	選択		(人福-福祉コミュ)	2	講義		
	公的扶助論	選択		(人福-福祉コミュ)	2	講義		○
	ソーシャルワーク援助技術論Ⅲ	選択		(人福-福祉コミュ)	2	講義		
	多文化教育論（幼・小）	選択		(人福-人間形成)	2	講義		
	日本語教育概論	選択		(国際政策、 人福-人間形成)	2	講義		○
	日本語教育特講（外国籍児童生徒等）	選択		(国際政策、 人福-人間形成)	2	講義		○
	比較文化論(異文化理解)	選択		(国際政策)	2	講義		○
	日本語の表現Ⅱ（コミュニケーション）	選択		(国際-国際コミュ)	2	講義		○
	多文化教育論（中・高）	選択		(国際政策)	2	講義		
	福祉心理学	選択		(英和大学)	2	講義		○
日本語教育概論	選択	(英和大学)	2	講義				
宗教と思想	選択	(英和大学)	2	講義				
多文化共生論	選択	(英和大学)	2	講義				
子どもと文化	選択	(英和大学)	2	講義				
技能科目	多文化共生地域課題 2（多文化社会における対人援助/外国人と人権） (旧：多文化共生地域課題（多文化社会における対人援助/外国人と人権）)	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	多文化社会とことば	選択		2～4	1	講義	○	○
	保健医療福祉における文化理解	選択		2～4	1	講義	○	○
	多文化共生地域課題 1（山梨県の多文化化） (旧：地域課題解決（多文化共生）)	選択		1～4	1	講義	○	○
実践科目	芸術活動をおとした多様性協働プロジェクト	選択	4単位	1～4	2	演習	○	○
	多文化共生の現場を歩く	選択		1～4	1	演習	○	○
	多文化共生を目指した地域課題プロジェクト (旧：地域課題プロジェクト（多文化共生イベント企画）)	選択		1～4	1	演習	○	○
	多文化対応人材育成演習（教育）	選択		2～4	1	演習	○	○
	多文化対応人材育成演習（保健・医療・福祉）	選択		2～4	1	演習	○	○



①多文化共生を目指した地域課題プロジェクト ②多文化共生の現場を歩く ③多文化共生地域課題

次代を担うアントレプレナー養成プログラム

科目分類	科目名	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	授業形式	連携開設科目	コンソ 単位互換
VUCA 科目	VUCA時代のキャリアレジリエンス	必修	3単位	1～4	2	講義	○	○
	地域のチャレンジ1	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域のチャレンジ2	選択		1～4	1	講義	○	○
	グローバルマインドとスキル	選択		1～4	2	講義	○	○
	地域しごと概論（経営マインド）	選択		1～4	1	講義	○	○
	地域の豊かさ	選択		1～4	2	講義	○	○
	問題発見の技法（旧：提案書作成のためのスキル）	選択		1～4	1	演習	○	○
※学部等開講科目なし								
技能科目	アントレプレナーシップとスキル	選択	3単位	1～4	2	講義	○	○
	グローバルビジネススキル	選択		1～4	1	講義	○	○
実践科目	アイデア共創実践	選択	3単位	1～4	1	演習	○	○
	ビジネス共創実践	選択		1～4	2	演習	○	○



①②アイデア共創実践 ②グローバルビジネススキル

02

令和5年度授業実施状況

(一部事業を抜粋)

授業実施状況

—VUCA科目—

VUCA時代のキャリアレジリエンス 担当講師：水上篤／杉山歩

VUCA時代：Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）において自らのキャリアを形成していくに際して困難に直面した時に、しなやかに対応していく能力が求められます。本科目では、社会の変化にしなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学ぶことを目的とします。



地域のチャレンジ1.2

担当講師：堀内久雄／杉山歩

山梨県内で地域づくり・ビジネスの側面から様々な活動にチャレンジしている方を招き、活動を成功に導いた原動力について学び、地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域資源の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。



グローバルマインドとスキル

担当講師：嶋津幸樹

世界の教養を英語で学びグローバルマインドを身につけ、自己分析・自己探求を通して自らの学びを発信するスキルを育成します。英語「を」学ぶのではなく英語「で」自分のことと世界のことを探求することで、新しい視野や価値観を手に入れ、最終発表では探求したい教養テーマを自分の人生ストーリーと癒わせ、5分間のプレゼンテーションで表現します。新しいマインドを手に入れてローカルにもグローバルにもインパクトを与えるプロジェクトを共に創り上げます。



地域の豊かさ

担当講師：今井久

日本の一地方である「山梨県」の特徴ある地域資源に注目し、それらと豊かさを関連付け、山梨県の豊かさがどのようなものなのかを、「エコロジカル・フットプリント」「健康寿命」「ものづくり」「農業」「ワイン」「水」の6つに注目し山梨県におけるそれらの位置づけと、それぞれがどのように地域の豊かさに関連しているのかを考えていくことを目的とします。



地域しごと概論（経営マインド）

担当講師：手塚伸／今井久

山梨県には多種多様な「ものづくり企業」が展開している。その多くが、ハイテクノロジー・ハイスキル、オプティマルテクノロジー・オプティマルスキルを強みとして、国内だけではなく海外においても存在感を発揮しています。経営者の方々の現場からの生の声や受講者への期待をとおして、山梨県産業の多様さ、奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することにより、今後のキャリアを構想するに当たっての基本的な知識や精神的な糧を得ることを目的としています。



問題発見の技法

担当講師：佐藤文昭

地域社会の問題は、複雑化・複合化し、目に見えている出来事も、実は様々な要素が複雑に絡みあって生じています。こうした出来事が「なぜ」、「どのよ



うに」起こっているのかを、データやディスカッションを通じて一つ一つ解き明かしていくことにより、根本にある問題点は何かを見つけるための技法を指導します。それにより、今後、様々な分野における学修の基盤となる「問いを立てる力」を身に付けることを目的とします。

—観光高度化人材育成プログラム—

地域資源の保全と活用

担当講師：堀内久雄／杉山歩

山梨県には豊かな観光資源（文化と自然）があり、持続的な観光開発には自然環境、文化資源を保全しながら開発を進めていく必要があります。多彩なゲスト講師をお招きし、実際に行っている活動についてお話を伺いながら、自らどのように行動していくか考え、自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解してもらうことを目的とします。



料理とワインのマリアージュ

担当講師：長谷部賢／堀内久雄／杉山歩

ワインと料理には密接な関係があり、適切なワインと料理を選択することで相乗効果が生まれ、相互を引き立たせることができます。本講義では、基本的な組み合わせのルールについて理解してもらうとともに、山梨県産のワインと食材を活用して実際に料理とワインの組み合わせ方について体験的に学ぶことを目的とします。



やまなしワイン入門講座

担当講師：長谷部賢／堀内久雄／杉山歩

日本の産業ワイン発祥の地であり、日本を代表するワイン産地である山梨県ですが、どんな所が評価されているのかすぐに答えられる人は少ないと思います。本講義では山梨ワインの魅力について座学と現地での体験・視察を通して、産業・観光の両面から学びます。



実用中国語

担当講師：賀南

中国語圏の観光客に焦点を当てた、実践的なガイド研修を行います。観光案内に必要な基本的なやり取りを中心に、本県をガイドする際に使用頻度が高い単語、基本文型、そして会話時のポイント等を学んでいきます。特に実践性を重視し、県内の河口湖エリアのスポットを想定し、通訳案内が可能となることを目標とします。



ネイチャーガイド演習1.2

担当講師：吉田均

ネイチャーガイドをキーワードに、自然環境や歴史文化財を、多様な視点でのツアーを通じて学びます。特に「甲武信ユネスコエコパーク」内でのネイチャーツアーの企画立案と運営の補佐ができる実践的学習を目標とします。当日は、日本遺産：御嶽昇仙アシスタントガイド研修に参加することで、その企画や実施方法を体験的に学びます。



—地域づくり加速化人材育成プログラム—

ワークショップデザイン

担当講師：田中友悟

複雑化する社会に向き合うためには、立場や主義主張を超えたコミュニケーションによる課題解決や新しい問題設定の力が必要となります。社会課題解決のためのコミュニケーション能力の習得を目的として、参加・共創型社会に求められるワークショップデザインの技術・姿勢を実践的に学び、効果的な対話の場をつくる能力を身につけます。



政策づくり実践演習

担当講師：保坂久

モデル自治体について、統計データ他の情報を収集分析して課題を抽出し、現場のヒアリングなどの調査を行い、取り組み可能な問題点を探します。その問題点をどう改善するかアイデアを出しあい、具体的な企画案を通じて政策づくりのプロセスを学ぶとともに、相手に伝わるプレゼンテーションを考えます。



事業づくり実践演習

担当講師：澤伸恭／佐藤文昭

様々な地域課題を解決するためには、新たな事業を企画しそれを実践していくためのスキルとマインドが求められます。受講者の地域課題や興味関心をテーマとし、新たな事業を企画立案・試行することを通じて、事業を生み出すためのプロセス及び手法を実践的に指導します。



ービジネス構想力・経営マインド醸成プログラムー

金融リテラシー向上講座 ～お金の過去・現在・未来～

担当講師：堀内久雄／手塚伸／今井久

貨幣を巡る様々な考察を通じて、その本質に迫るとともに、現代社会において様々な金融機関が貨幣を用いてどのような活動を行ってきたのか、それぞれの歴史、現状、将来展望を学びます。こうした学びの中から、私たちの貨幣との向き合い方を深く洞察し、金融リテラシーを向上させるとともに、地域経済の活性化に生かすことのできる人材を育成することを目的とします。



トレンド予測の手法

担当講師：家安香／手塚伸／今井久

マーケティングの入口で必要となる未来予測は極めて重要なステップですが、VUCAの時代にあってこれを的確に捉えることは極めて難しいものの、重要かつ必須の課題となっています。不確実な時代にあっても、中長期的なトレンドを如何に予測していくか、これをもとにどのような未来戦略を描いていくかに関し、有効な知識とスキルを習得することを目的とします。



企業におけるレクチャーと現場研修 担当講師：今井久/手塚伸

山梨県内には多様なものづくり企業が、身近な経済社会のみならず、グローバルな経済社会の循環に必要な製品・サービスを提供しています。こうした業の現場に赴き、経営者等から企業活動の理念や概要を伺うと同時に、生産の現場を視察し、ものづくりの仕組み、戦略を体感します。



ブランディング基礎と実践 担当講師：田子學/今井久/手塚伸

企業経営に必要なブランディングの基礎知識と実践する際の思考方法や具体的手法を学びます。特に中小企業に不足しがちな精度の高い新事業創造力、実行力の高いブランディング人材の育成方法、デザイン・広報戦略など、ブランド構築の手法について、講座・ワークショップで体験し学び、受講者が高いブランディング能力を習得することを目指します。



事業計画づくりワークショップ 担当講師：内田研一/今井久/手塚伸

VUCA時代のキャリア形成において、組織において新規事業を立ち上げる際あるいは起業時に、様々な要素を勘案した有効かつ創造的な事業計画を構想できる能力は極めて重要です。事業計画策定の際に求められる、事業理念の構築、マーケットリサーチ、商品設計、資本政策、ブランディングなど、一連の事業計画策定の基礎的な手法を演習形式で学びます。



ービジネス構想力・経営マインド醸成プログラムー

多文化共生の現場を歩く

担当講師：長坂香織

多文化共生に関わる現場に足を運び、実際に見て、その現場の方の話を聴くことを通して、多文化共生の現状と課題を肌で感じ、理解します。また、それらの課題解決に向けた現場の対処について学び、多文化共生を自分事として考える姿勢を身につけます。



多文化対応人材育成演習（教育）

担当講師：ピッチフォード理絵

日本語指導が必要な全国の公立小学校～高等学校に在籍する外国人児童生徒や海外にルーツを持つ日本国籍者の多くは、一時的な日本滞在ではなく今後も日本に住み続け将来日本社会の一翼を担うこととなります。彼らのおかれた環境、背景を理解し、国、自治体、地域、学校の取り組みを知り、彼らの成長を支えるために組織として、また個人として何ができるか考える力を養います。



芸術活動とおした多様性協働プロジェクト

担当講師：山野靖博／中原和樹

自立した個人として他の個人と向き合い、対話し、それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作の体験を目指します。自己の内省と他者への開示、他者の受け入れを軸として表面上ではない深い対話を進めていき、社会的レイヤーから切り離された人間同士としての交流と繋がりを構築することが必要となり、自分も生き、相手も生きるという道を探求し、自身の観点を広げ、鋭く成長させていきます。



保健医療福祉における文化理解

担当講師：新居みどり／長坂香織

多文化化する地域における外国人住民の現状を知り、その諸課題について理解します。そして、世界につながる地域社会の一員として、多文化共生社会の実現にむけた方途について考察し実践する力を身につけていきます。



—次代を担うアントレプレナー養成プログラム—

ビジネス共創実践

担当講師：齊藤浩志

『「自分なりの視点」で物事を見て、「自分なりの答え」を導き出す』。それこそがVUCAといわれる不確実性が高いこの時代において、どんな逆境に遭遇したとしても独自に生きていく力になります。「Mt.fujiイノベーションキャンプ」への参加を通じて、社会に存在する課題を自分ごととして捉える課題の発見力や共感力を育むとともに、不確実性の高い環境下でも未来創造や課題解決に向けた行動を起こしていくための精神と態度を学ぶ機会とします。



※山梨県で毎年9月に開催されている短期集中型のビジネスアクセラレーションプログラム「Mt.fujiイノベーションキャンプ」に、全日程での参加となります。自ら考えたビジネスプランについて、メンターである起業家や起業家支援の専門家、協創パートナーである民間企業の新規事業担当の方方との議論や対話を通じてブラッシュアップし、最後のイノベティブビジネスプランコンテストで発表します。

グローバルビジネススキル

担当講師：戸田達昭

グローバルで活躍している方の活動を、ビデオコンテンツの視聴と担当教員による解説を通して、世界で戦えるビジネススキルを学びます。事業戦略、知的財産の活用、マーケティング、ファイナンス、M&Aをテーマとした一流の取り組みや世界の大学併設インキュベーターであるDMZとの連携により英語でのコンテンツに触れ、グローバルビジネススキルの向上も目的としています。



03

令和 5 年度活動実績報告

1. プログラム修了証の発行

5つのプログラムにおいて、修了者を輩出しプログラム修了証授与を行った。

秋山由布子さんのコメント

この春、私は山梨県立大学国際政策学部総合政策学科で学士号を取得し、北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）に進学しました。

JAISTには嗜好飲料やアルコール飲料が好きな先生や学生がたくさんいます。PENTASで知見を深めたワインや日本酒、ビール、水に関する話は、非常に受けが良いです（笑）。勿論それだけでなく、PENTASでの学びや経験は、日々の講義や研究、交流の場においても随所に活かされており、JAISTという共同体で生活する中で、とても良い影響をもたらしていると実感しています。

人類が誕生して以来、人は共同体の中で助けあいながら暮らしてきました。数々の困難や不測の事態にも対処し、乗り越え、今日まで発展してきた背景には、複雑ネットワークという概念が関係しているそうです。昨今、“自分のやりたいことは何か”が先行し、“自分にできることは何か”といった視点にやや欠ける印象がありますが、本来はこの両者をアウトヘーベンすることが重要だと思います。PENTASはスケールフリー性を持ったネットワークであり、皆さんの将来や社会に貢献するうえで求め遅しさや、しなやかさを身につけるために最適な環境であるといえます。

有名な講演の一つに、エドワード・ローレンツによる「予測可能性：ブラジルの1匹の蝶の羽ばたきはテキサスで竜巻を引き起こすか？」がありますが、皆さんの内発的動機づけだけでなく、外発的動機付けに拠って選択した講義での学びや経験が、めぐりめぐって社会を大きく変容させるきっかけとなるかもしれません。皆さんも一匹の蝶になったつもりで、PENTASで羽ばたいてみませんか。



2. 受講者との意見交換会

令和6年2月1日（木）、PENTAS YAMANASHIを提供する参加校の学長や特任教員と受講者との意見交換会を行い、教育プログラムに関するフィードバックを受ける機会となった。

参加受講者：秋山由布子（山梨県立大学 総合政策学科4年）
 相澤涼（山梨県立大学 国際コミュニケーション学科2年）
 藤田健太（山梨大学 地域社会システム学科2年）
 牛田育美（社会人 行政書士）



3. 広報活動

(1) PENTAS Program・PENTAS Magazineの作成

学生への周知だけではなく、高校生から社会人まで取組みが認知されるような広報誌を学内独自で作成し、事業協働機関、各市町村、図書館等へ配布した。

Magazineでは、チャート表を載せてプログラム受講に導きやすい筋道を立てたり、受講者へのインタビューを行うなどより一層、身近に感じてもらえるような冊子づくりを行った。また、各プログラムごとにポスターを作成し、学内掲示を行う事で視覚的に学生へのPRを実施することができた。



▶ 作成ポスター



(2) 高校生・社会人受講者募集チラシ作成

高校生・社会人は、学生とは募集期間が異なるため、それぞれにチラシを作成し一人でも多くの受講者を確保できるよう案内を行った。



(3) フォーラム開催

講師を招き、各種フォーラムを実施し、開催に当たり、マスメディアなどからの告知、商業施設へのポスター掲示などを行う事により、実践的なPENTAS Programの知名度向上に貢献することができた。

○ 「新しい社会をお金の再定義から考える」

- ・開催日時 : 2023年9月16日 (土) 13:00~17:30
- ・登壇者 : 内山 節氏
(哲学者)
- : 藻谷 浩介氏
(株)日本総合研究所 主席研究員)



○ 「やまなし共生フォーラム」

- ・開催日時 : 2024年3月23日 (土) 13:00~16:30
- ・登壇者 : 新居みどり氏
(NPO法人国際活動市民中心CINGA理事)
- Peggy Proser氏
((一社) 撫子寄合副代表・NPO法人YES DEAF CAN! 副代表)
- 廣瀬 芽里氏
((一社) 撫子寄合代表・NPO法人YES DEAF CAN! 代表)
- 長坂 香織氏
(山梨県立大学地域人材養成センター特任教授)



4. 寄附講座等の実施

事業協働機関等と連携し、「おもてなしマイスター養成講座」「観光実践マネジメント講座」の2科目をやまなし観光推進機構の経費負担により、「金融リテラシー向上講座」を山梨中央銀行からの寄付金により、「付加価値を生む地域資源の保全とブランド化」をサントリーグループの協力（社員が非常勤講師となり無報酬）により、それぞれ実施した。

5. 教育課程への位置づけ



全学的な教養教育改革として、区分を「基盤科目」と「総合科目」に再編するとともに、関連する科目の履修を促し「一つの分野について深みのある学び」ができるよう「科目群」を配置した。

PENTASのVUCA科目と5つのプログラムは、それぞれを「科目群」として設定し、教養教育課程の中核として位置付けた。

6. プログラムごとの受講者数（延べ人数）

	学 生	社会人	高校生	合 計
VUCA科目	114	11	7	132
観光高度化人材	142	119	1	262
地域づくり加速化人材	60	6	0	66
ビジネス構想力・経営マインド	115	18	2	135
多文化共生対応人材	67	23	2	92
次代を担うアントレプレナー	39	1	11	51
合計	537	178	23	738

7. 数値目標と実績

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
開講プログラム数	0	0	2	2	4	5	4	5	5	
学生総受講者	0	0	40	86	100	168	110	166	125	
卒業者のうち受講済者数	－	0	－	4	－	48	－	37	－	
地元就職者数	0	0	10	1	60	15	70	11	85	
地元定着者数	0	0	10	0	60	15	70	－	85	
社会人受講者数	0	0	40	117	70	182	100	156	110	
うち県外からの受講者数	0	0	5	35	10	52	15	35	20	
社員教育に利用する企業数	0	0	3	30	6	25	9	21	10	
学外の実務家教員の割合	－	－	20%	76%	22%	77%	25%	75%	25%	
教員数	－	0	－	17	－	31	－	36	－	
実務家教員数	－	0	－	13	－	24	－	27	－	

04

令和5年度事業運営体制

地方創生人材教育協議会

1 所掌事項

- ・本事業計画等の提案や承認に関すること
- ・その他事業の連絡調整に関すること

2 構成員

山梨県立大学地方創生機構長 早川正幸、山梨県知事 長崎幸太郎、山梨大学 学長 中村和彦、山梨英和大学 学長 朴憲郁、(公財)山梨総合研究所 理事長 今井久、(公財)やまなし産業支援機構 理事長 手塚伸、(公社)やまなし観光推進機構 理事長 仲田道弘、(株)タンザワ 顧問 堀内久雄、萌木の村(株) 代表取締役社長 船木上次、昭和産業(株) 相談役 岩下和彦、(公財) 山梨県国際交流協会 会長 長田公、(一社)Mt.Fujiイノベーションエンジン 代表理事 岩崎甫、山梨県立大学地方創生副機構長 相原正志、地域人材養成センター センター長 杉山歩、国際政策学部部長 申龍徹、人間福祉学部部長 柳田正明、看護学部部長 泉宗美恵、地域研究交流センター長・国際教育研究センター長 安達義通、キャリアサポートセンター長 吉田均、教育委員長 八代一浩(代理)

3 開催状況

(1) 令和6年2月1日(木) 13:50~14:55

- ・令和5年度の事業実施状況、事業評価委員会の状況、県内就職の状況について共有
- ・令和6年度の教育プログラム、事業計画について審議
- ・令和7年度以降の方針について協議

事業実施委員会

1 所掌事項

- ・教育プログラム事業の企画・立案・運営に関する事項
- ・事業協働機関との連絡調整に関する事項

2 構成員

山梨県立大学地方創生副機構長 相原正志、地域人材養成センター長 杉山歩、副センター長 今井久、エグゼクティブコーディネータ 船木上次、プロジェクトコーディネータ 堀内久雄、プログラムコーディネータ 仲田道弘、プログラムコーディネータ 佐藤文昭、プログラムコーディネータ 手塚伸、プログラムコーディネータ 戸田達昭、プログラム責任者・教育委員長 安藤勝洋、プログラム責任者 箕浦一哉、プログラム責任者 八代一浩、プログラム責任者 長坂香織
山梨大学代表者、山梨英和大学代表者

3 開催状況

(1) 令和5年10月3日(火) 10:30~12:00

- ・事業評価委員会の状況、受講者へのインタビュー結果、各科目の履修者数等について共有
- ・令和6年度以降の方針、令和6年度プログラムの開講準備等について意見交換

事業評価委員会

1 所掌事項

- ・進捗状況の評価に関すること
- ・成果の評価に関すること

2 構成員

北陸大学 高等教育推進センター センター長・教授 杉森公一(委員長)
国際基督教大学 理事評議員・名誉教授・女子学院前院長 風間晴子
株式会社テレビ山梨 代表取締役社長 原田由起彦
株式会社クア・アンド・ホテル 代表取締役社長 三森中
西武文理大学 学長 八巻和彦

3 開催状況

(1) 令和5年7月14日(金) 13:30~16:00

- ・山梨県立大学より、前回評価を踏まえた取組み、令和4年度の事業実施状況、受講者へのアンケート結果等について説明
- ・令和4年度の取組状況について、委員により評価

05

補助事業に関する経費

令和5年度

金額(円)

収支区分	補助対象経費	内 訳	事業全体	山梨県立大学	山梨大学	山梨英和大学
支 出	物品費	設備備品費	1,604,931	1,604,931	0	0
		消耗品費	1,035,255	722,594	11,880	300,781
		計	2,640,186	2,327,525	11,880	300,781
	人件費 ・謝金	人 件 費	23,296,910	21,328,512	1,968,398	0
		謝 金	1,991,127	1,991,127	0	0
		計	25,288,037	23,319,639	1,968,398	0
	旅費	旅費（うち国内旅費）	942,919	942,919	0	0
		旅費（うち外国旅費）	0	0	0	0
		旅費（うち外国人招聘旅費）	0	0	0	0
		計	942,919	942,919	0	0
	その他	外 注 費	3,449,258	3,449,258	0	0
		印刷製本費	2,532,282	2,511,435	20,847	0
		会 議 費	48,960	48,960	0	0
		通信運搬費	239,106	239,106	0	0
		光熱水料	0	0	0	0
		その他（諸経費）（うち委託費以外）	790,534	790,534	0	0
		その他（諸経費）（うち委託費）	0	0	0	0
計		7,060,140	7,039,293	20,847	0	
合 計			35,931,282	33,629,376	2,001,125	300,781
収 入	大学改革推進等補助金		33,647,000	31,347,000	2,000,000	300,000
	自 己 収 入		2,751,807	2,749,901	1,125	781
	合 計		36,398,807	34,096,901	2,001,125	300,781



<https://www.pentas.yamanashi.jp/>

問い合わせ

山梨県立大学
地域人材養成センター 社会連携課

〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1
TEL 055-225-5412 FAX 055-225-1150
Mail cocr-pentas@yamanashi-ken.ac.jp

